



校 友

Vol.35 平成 22 年 11 月 1 日

松商学園高等学校校友会

松本市県 3 - 6 - 1

TEL 0263-34-2724 FAX 0263-34-0107



【歴史栄光室】



【中校舎】

主 な 内 容

◆ あいさつ	2頁
◆ 21年度卒業生進路状況	5頁
◆ 22年度松商学園高校 活躍・活動報告	7頁
◆ 清水が丘短信	9頁
◆ 23年度生徒募集要項	10頁
◆ 松本秀峰中等教育学校	12頁
◆ 松本大学からの報告	13頁

◆ 歴史栄光室オープン	14頁
◆ 21年度終身会費納入者名簿	17頁
◆ 終身会費納入状況	18頁
◆ 21年度維持年会費納入者名簿	19頁
◆ 22年 総会報告	20頁
◆ 21年度 校友会支部・学年会 活動報告	23頁

ごあいさつ

松商学園高等学校校友会

会長 花村 薫 平



例年に無い猛暑が過ぎ、やつと暮らした良い季節となりました。校友の発刊に当たって一言ごあいさつを申し上げます。日頃は校友会活動に御協力を頂いておりますこと厚く御礼申し上げます。さて、校友皆さん方の強い要望により木造校舎の改修に当たっては一一〇周年記念事業として募金活動と共に進めてまいりましたが、校舎の改修が九月末日をもって終わりました。一二年の歴史を物語る品物や写真など校友の皆さんより寄贈され、松商学園歴史栄光室としてオープン致しました。硬式野球部関係では歴史を語る貴重な品物が多く寄せられるなど、全部の展示ができないため展示入れ替えにより、より多くの人に展示物を見てもらうため、常設展示の他に企画展示が予定されております。又、改修されました木造校舎は、文化財として登録され永年保存されます。尚、校友の皆さんにお願いしました募金につきましては未だ予定の半分であり、平成二十四年三月末日まで期間延長をして募金活動を行っておりますので、一層の御協力をお願い致します。学校の施設では六階建ての中校舎の

新築、木造校舎の改修や大学と共用になります。サッカードを中心とした総合グラウンドの建設など念願の施設が完了し設備の充実が計られてまいりました。又、教育現場の校長先生を中心に諸先生方との交流を深めるための会議が行われ、卒業して行く生徒と校友会との絆を深めるための話し合いがなされ、年内にも一度常任役員を含めた会議を行う予定であります。甲子園を目指した硬式野球部は、本年は残念ながら出場はできなかったけれども、硬式野球部は三年後には大きな節目の創部一〇〇周年を迎えます。この時こそ全国制覇を目標に進めなければなりませんし、大きな期待が寄せられております。後援会、OB会、球友会の皆さんと共に校友皆さん方の御協力をお願い致します。終わりに今回の会報の発送は、終身会費並に年会費を納入された皆さんのみの発送であります。引き続き年会費の納入をお願い致します。会報についてはホームページでも紹介しております。校友皆さんの御健勝での御活躍をお祈り申し上げます。ごあいさつと致します。

ごあいさつ

学校法人松商学園

理事長 藤原 一二



校友会の皆さんに、まず幾つかの報告を申し上げます。松商一一二年の歴史のなか選考委員会は、現役教職員を校長として初めて推挙し、理事会は満場一致により、金井貞徳教頭を校長に決定し、この四月一日就任を致しましたことを、まずもって御報告致します。

また、創立一一〇年に鑑み、県下一の六階建校舎の建設、木造校舎永久保存、歴史栄光室設置に係わる寄付金について現在進行中でございますが、今日までの御礼と、あと一年の期間内に目標の二億円達成に對しまして、一層のご協力をお願い申し上げます。

特に校友の皆さんが関心の深い野球部は、全国最多出場の歴史を築いて参りましたが、三年後には野球部創設百年という節目を迎えることとなります。故、更なる御支援をお願い申し上げます。

さて、全国に類のない、校友が学園の経営母体であることは御高承の通りであり、今日この様な環境の中、これからの経営がいよいよ以って伝統を固持する事は、保証されるものではありません。私はこれからが正念場である

と心得ており、そのため校友会の皆様との絶大なるご協力が欠かすことの出来ない課題であると認識しております。次に、現状について御報告致します。

- まず、学校法人松商学園は
- 一、松商学園高等学校
- 一、松本大学
- 一、松本大学松商短期大学部
- 一、松本秀峰中等教育学校

二年前の法人合併により、学校法人松商学園による経営となった松本松商高等学校は、七〇年の伝統を有しておりましたが、時代の要請もあり本年三月閉校を致したところであります。

松南高校の地は、かつて松本商業学校時代の昭和三年、野球部が甲子園大会で全国制覇を果たした地でもあります。その地に御高承の通り、松本秀峰中等教育学校が開校致しました。

皆さんに御理解を頂きたいのは、各々の学校の卒業生により松商学園校友連合会が構成、成立しているということであり。そこで私は、新時代の校友の皆さんに向けて、連合会の再構築について一言所見を述べさせて頂きたいと存じます。



校 友

(一) 構成…松商学園高等学校、松本大学、松本大学松商短期大学部、松本秀峰中等教育学校、松本松南高等学校卒業生は、松商学園校友連合会の一員であるということとなる。

(二) 理念…学園は卒業生を支援し誇りに思う。校友会員は学園を賛助し、相互協力、親睦を図る。

(三) 特徴…伝統と歴史

(四) 課題…支部の存在を考える。若年層の参加を考える。

(五) 基本…同窓生、教職員、在校生、体育会、文化系各OBとの連携。

学園支援のため何が出来るかを考えてほしい。

(六) 方策…情報公開する。(インターネット等での情報公示)

(七) 参加の為に…役に立つ講演会、イベント等、総会と連携させる。また、PTAとの連携も考える。個人よりアイデアを募集する。

(八) 主義…建学の精神、自主独立

(九) 支援策…財政支援、教育支援、中高大の連携

ベンチャービジネス産学連携

(十) 卒業生の中には、色々の分野で活躍している人たちが多く。人間的信頼と絆、誇り高き母校である事の幸せとなる努力。代議員制度の活用。

終わりに学園の現在の計画及び実行したものを報告させて頂きます。

○法人

松商学園総合グラウンドの建設、糸魚川学園長以来の学園長の復活・小宮山学園長就任。

○松商学園高等学校

県下一を誇る六階建校舎(教職員室、売店、念願の食堂、セミナー教室等)を竣工、木造校舎の耐震改修工事及び文化財登録申請準備、一一〇年に及ぶ歴史を納めた歴史栄光室の設置、文武両道に対する一層の支援

明治大学との連携 野球部創部一〇〇周年記念事業の推進

○松本大学・松商短期大学

学長に菴谷氏就任、七号館建設、大学院設置認可申請

○松本秀峰中等教育学校

日本一を目指して教育の充実、前信州大学学長小宮山氏の校長就任

以上、校友会と学園との橋渡ししが私の役割と心得ます。学園と校友とが一体とならなければ、二十一世紀の学園の発展はできない。

伝統とは、建学の精神を変わらぬ基本として常に時代に対応して変化していく事と心得ています。現在の我々と将来の卒業生までを考えて松商学園校友連合会を作って頂くしたいと思います。

皆様の御支援・御協力無しには出来ません。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



松商学園のパワーを実感しつつ

学園長・松本秀峰中等教育学校校長

小宮山 淳

伝統ある松商学園の学園長を拝命してから間もなく一年になります。また、松本秀峰中等教育学校の開校に伴い、正式に校長としても活動させて頂いておられます。この間にあって、校友会員各位には心温まるご指導とご支援を頂戴してまいりました。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

松商学園高等学校では、先生方の勉強会や懇親会などにも参加させて頂いた。だき、漲る“松商パワー”を実感するとともに、そのスタッフの一員である喜びを噛みしめてきました。また、卒業式、入学式、開校記念日などにおいて、将来性豊かな生徒たちに直接語ることができる貴重な機会にも恵まれました。

開学記念日には、輝かしい歴史と伝統に思いをいたすとともに、生徒たちにはこの誇るべき伝統をしっかり継承し、新たな飛躍にむけて励んでいこうと呼びかけたところです。そして、校友会員各位が社会のさまざまな領域にあつて、その中核として大活躍されている実情にふれながら、その先輩たちを乗り越えるよう自己研鑽してほしいとの思いを伝えました。伝統を守り続けるためには、変わり続けなければな

りません。生徒たちの希望に満ちた目の輝きからも、必ずや私どもの願いに応えてくれることでしょう。

ところで、松本秀峰中等教育学校が本年四月、長野県初の中高完全一貫校として、社会の期待を担って開校いたしました。第一期生は八十七名で、出身小学校を地域別にみると、松本・塩尻地区が65%、岡谷・諏訪・茅野地区が20%、安曇地区が10%であり、さらに長野、南佐久郡、木曽郡などの遠方にまで及んでいます。生徒は全員が、授業はもとより課外活動などにも意欲的に取り組んでおり、「建学の精神」が謳う人材のタマゴとして大いに期待を寄せているところです。本校の活動が、松商学園の発展に少なからず寄与できることを願ってやみません。

最後になりましたが、貴会のますますの隆盛を祈念し、お礼を兼ねて近況報告とさせていただきます。





生徒を可能性の存在として見つめ、 未来を生きる力を育てたい

松商学園高等学校

学校長 金井 貞徳

本年四月一日、松商学園高等学校校長を拝命いたしました。この大任に、まさに身の引き締まる思いであります。

私は、昭和四十九年四月に採用となり、以来三十七年間、松商学園と共に歩んでまいりました。この活気あふれる学び舎で、教師として、担任として、さらに放送部やサッカー部等の顧問として体験した多くの学びを活かしつつ、校長としての職務に邁進する所存です。皆様方の暖かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

私は、生徒を可能性の存在として見つめ、松商学園ならではの教育活動によって、未来を生きる力を育て、社会をリードする人材の育成を目指したいと考えます。

創立以来一十二年、そろばんからコンピュータへと時代も機器も大きく移り変わりました。しかし、社会状況がどんなに激変しても、熱意あふれる教師と生徒の人的ふれあいと切磋琢磨の中、松商学園の持ち味である「親和力」が生まれ、教育を推進してきました。今後も、教職員一丸となって生徒と本気で向き合い、

知性・人間性を育て、一人ひとりの生徒が納得いく進路実現を図れるよう力を尽くしたいと思えます。

「親和力」は、部活動発展の原動力ともなっています。現在、本校には運動・文化併せて40のクラブや同好会があります。創部九十七年となる硬式野球部やサッカー部、放送部など、地域の皆さまの熱い支援をいただきながら、全国大会で活躍しているクラブも多く、その活動は、学園の活力・シンボルとなっています。この持ち味も大いに磨きをかけ、「松商学園の元氣と活躍」が校友の皆さんから、一層大きな拍手をいただけるように努めたいと思います。

松商学園を象徴するのは、建学の精神「自主独立」と校歌であります。自主独立とは、一人の人間としてあらゆる知識と知恵を持つて主体的に決断し、実行すること。たとえ挫折があつても再起し、リスクがあつてもそれを恐れず、道を切り開くことであります。校歌には、自主独立の精神が脈々と息づき、校風を成しています。

「正しく強く生きんが願ひ
独立自営を掟となして

邁往進取を誇となして

健児我等は清水が丘に」

邁往とは、ひたすら励み進むこと。

進取とは、慣習にとらわれず、進んで新しいことに挑戦すること。『清水ヶ丘の健児達よ 自分らしくひたすら励み、挑戦しよう!!』と激励し



雄々しき連峰と瑠璃なす清流

松本大学・松商短期大学部

学 長 菴 谷 利 夫

松商学園の入学式、卒業式などでも楽しみなのは、校歌斉唱を聞くことだ。私は松商OBではないのだが、高校時代の昔、学校泊まりがけのコンパがよくあり、文字どおり同じ釜の飯を食い、肩を組み合つて放歌高声し、青春を謳歌した経験が懐かしい。いろんな歌を先輩から教

大阪生まれの「信時潔」。東京音楽学校を出て、ヨーロッパに留学したのち母校の教授となり、日本芸術院会員や文化功労者にも選ばれたほどの人である。このような大家が作詞作曲した校歌は、滅多にない。

わり、大いに歌つたが、市内全高校の校歌も教わった。松商の校歌はすぐ覚えた。詩もいいし曲もいい。それもそのはず、作詞者は「故郷（兎追いし）」「朧月夜」「春が来た」「春の小川」「紅葉（秋の夕日に）」など有名な「高野辰之」（北信濃の人）であり、長野師範を出て東京音楽学校教授、東京帝大講師などを歴任した信州自慢の日本歌謡研究者である。また、作曲者は、信州人ではないが

そこで信州人ならば、四表に聳える主な連峰の名前くらい来訪者に教えて欲しいもの。まず、学校の西側から北側の方向にずらりと並ぶのが北アルプス。乗鞍、蝶、常念、大天井、燕、餓鬼、蓮華、針ノ木、爺、鹿島槍、五竜、唐松、白馬三山など。さらにその後ろには、美ヶ原など高いところに登つてようやく見えてくる槍・穂高連峰が控え、西穂、前穂、奥穂、枯沢、北穂、南、中、大喰、槍、三俣蓮華、鷲羽、水晶などが連なる。

ています。様々な困難の中にあつても、「自主独立」の精神と「邁往進取を誇となして」の志が、若者たちの生きる道標となることを願っています。最後に、校友会の益々のご発展をご祈念し、ご挨拶いたします。



次に、学校の南側で遠望されるのは、中央アルプスと南アルプスの木曾駒（西駒とも）、北、千丈、甲斐駒（東駒とも）などで、これらも三千米級である。

さらに学校の東側だ。北・中央・南のアルプス連峰には適わないが、他府県に持っていかばいずれも最高峰クラスになる山々が勇姿を誇る。千五百米以上を挙げると、王が鼻（美ヶ原）を筆頭に、武石峰、鉢伏、三峯、袴腰、高ボッチ、戸谷峰、烏帽子岩などの諸山だ。

また、瑠璃なす清流はといえば、梓川、高瀬川、奈良井川、薄川などだ。

そして、県民歌「信濃の国」の一節「古来山河の秀でたる国に偉人のある習い」を想い起こそう。そしてまた、校歌の一節「正しく強く、独立自営を、邁往進取を」も。



松商学園高等学校 平成21年度卒業生進路状況

新たな取組みをさらに深化

文理選抜コース3年目

特進クラスと同一カリキュラムで授業形態（0時限から7時限までなど）を工夫しての授業で文武両道を目指す文理選抜コースができ3年目に入った。

コース別対策

昨年度よりコース対策のためPTAより学力向上の名目で予算を計上していただき、商業・文理・文理選抜・総合の各学科のコースプロジェクトリーダー長を中心にして、コースの特徴をさらに発展させる具体的な計画を企画実践している。

平成21年度卒業生進路状況

進学について

卒業生362名のうち進学者は295名で、大学196名（進学者の66%）、短大47名（進学者の16%）、専修・専門学校52名（進学者の18%）、浪人その他51名（全体の14%）。大学では国公立大学17名（現役11名、浪人6名）合格した。その内信州大学へは5名合格。私立大学への進学者187名（現役）は、一般入試、指定校推薦入試、AO入

試、一般推薦入試、部活動推薦入試など多様な入試制度を積極的に活用して合格している。また難関校といわれている大学への合格者もますます増加している。

短大への進学者は47名となった。中でも、医療・商経・保育系への進学をはじめ多岐の分野に進学している。

専門学校への進学者は52名。医療系と情報系への進学者が多くなった。特に医療系は多い。

就職について

1年次から職業適性検査、職業講話、キャリア教育、会社見学などを実施し、職業意識の高揚と自己理解の深化に努め、厳しい就職雇用状況の中、将来社会で必要とされると共に、生きがいを感じて人生を送ることができるとを願う指導している。

昨年の就職・公務員希望者16名（全体の44%）は早めに準備・試験対策・会社訪問などを行い、採用内定を獲得した。

※主な就職先※

松本市役所、長野県警、東京都職員、JR東日本長野支社、郵便事業（株）信越支社、西濃運輸（株）松本支店、信濃グランセローズ、ソーシャル・ネットワーク（株）、長野第一興商、日精樹脂工業（株）、（有）南安鐵工所大

信州酒造（株）、（株）東京堂朝日村流通センター、かぶちゃん農園（株）、長野縣護國神社

進路先から見た各学科コースの特徴

【商業科】

資格取得と部活動や学習に頑張り、推薦入試制度を利用するケースが多い。

進学61名、就職7名

合格者数：私立大学31名

短大（国公立）21名

専修・専門9名

※主な4年制大学※

専修大・立命館大・松本大（7）・山梨学院大・龍谷大・獨協大・城西大（2）・千葉経済大・東京国際大・名古屋商科大・高千穂大（3）・桜美林大（2）・国士館大（4）・大東文化大（2）・拓殖大・愛知工科大・東海学園大……etc

【普通科特進コース】

センター入試試験、一般入試を受験し国公立、難関私大を目指す。

合格者数：国公立大学8名

私立大学24名

※主な4年制大学※

信州大（3）・富山大・埼玉大（2）・愛媛大・高

崎経済大・立命館大・早稲田大(4)・中央大
(2)・明治大(4)・法政大(7)・学習院大・駒
澤大・専修大(3)・帝京大・日本大(4)・同志
社女子大・関西大・関西学院大・北里大・昭和
大・東京工科大(3)・東京農業大・日本歯科
大・杏林大(2)・新潟薬科大(2)……etc

【普通科総合進学コース】

学業と部活動の両立をはかり推薦入
試、一般入試で進路実現を目指す。

進学119名、就職6名

合格者数：私立大学73名

短大(国公立)17名

専修・専門29名

《主な4年制大学》

青山学院大・法政大・立命館大・専修大・亜細
亜大(5)・國學院大・日本大・東京理科大・芝
浦工業大・大東文化大(3)・帝京大(3)・神
奈川大(4)・獨協大・順天堂大(4)・松本大
(8)・愛知学院大・杏林大・共立女子大・大妻
女子大・大正大・千葉商科大・中京大・武蔵野
大・日本福祉大(2)・玉川大(2)・関東学院
大(5)・関西外国語大・福井工業大・名古屋
商科大(2)……etc

【普通科文理進学コース】

学業と部活動を両立させ、難関大学
への進学を目指す。

進学82名、就職3名、浪人・その他22
名

合格者数：国公立大学3名

私立大学57名

短大(国公立)8名
専修・専門14名

《主な4年制大学》

信州大・都留文科大・兵庫県立大・明治大
(2)・立命館大・専修大(3)・法政大・明治
学院大・日本大(4)・駒澤大(2)・武蔵大・東
洋大(2)・文教大(2)・東海大・帝京大・国士
館大(2)・二松学舎大(2)・杏林大(2)・国
際医療福祉大・大東文化大(4)・東京電機
大・千葉工業大・横浜薬科大・松本大(4)・
京都女子大(2)・愛知医科大・日本福祉大
(3)・岐阜女子大・名古屋学芸大・名城大・
同志社女子大・関西学院大(2)・神奈川大
(2)・神奈川工科大(2)・名古屋学芸大・愛
知学院大(2)……etc

進路実現のための取組

日頃の学習での学力向上と、部活動
での人間力向上を前提に、目的を明確
にした目標設定をし、能力を引き出す
工夫と努力をし、より良い進路実現を
目指して、進路指導部、学年、担任、P
TA(保護者対象の「進路セミナー」(3
年)、「進路講演」(全体・12月)、「進路講
演」(2年、11月実施)が協力して各種
取り組みをしている。

(1)自己理解を深め、意識を高めるた
めの取り組み

進路講話

学年・コース別に適時に設定す
る。

特進講演会

4、5、10、11月(特進全学年)
進学研究会

(難関大進学、国立(信大など))
就職対策講座 (7月、8月)

(2)キャリア教育の推進

2年次(夏期休業・春期休業中)に
希望企業でジュニア・インターン
シップ(職業観育成)
3年次(就職希望者)は企業見学を
実施

(3)進路研究ガイダンスの推進

コース別進路ガイダンス(1、2
年)／就職・進学ガイダンス(3年
生全員に対して5月実施)／学校
別(大学など約80校参加)個別進学
ガイダンス(7月)／2年生徒と、
その保護者に対して、学ぶ分野別
ガイダンス(3月)／大学フェアー
に参加(特進・文理選抜コース・文
理コース)／進学準備ガイダンス
(2年)

(4)情報提供の充実

進路指導室にインターネット20台、
図書館にも進路用パソコン2台を
設置しインターネットを自由に活
用してもらう。
進路指導室の前の廊下を利用して
各種資料を提供・配布

(5)個別相談の充実

(6)センター試験対策講座・国立大個
別試験対策講座

(7)小論文対策講座

(8)就職・公務員対策講座

(3年就職希望者)に対して
6・7・8月実施

(9)補習授業・サテライト講座開講
(通年・長期休業中実施)

(10)学年統一模試・小論文試験の充実
(3年：7月、1・2年：11月・2月
実施)

特別進学コースへの対応

「持てる力を可能な限り伸ばす」を目
標にして

- ・オリエンテーション合宿(1年4月)
- ・補習授業、朝テストの実施
- ・サテライト講座(代ゼミ、河合塾、駿台
の3社を導入)の開講
- ・メンタルトレーニングの活用
- ・学習量確保のための7限目授業の設
定
- ・勉強合宿(夏期休業中)
- ・土曜日授業
- ・模擬試験を年10回実施
- ・センター試験会場にてプレ模試を受
験(12月実施)
- ・国公立2次試験対策として小論文講
座を長期休業中に実施



今年も運動・文化部共到大活躍

～総勢59名が二〇一〇美ら島沖縄総体へ～

この夏、沖縄県で開かれた全国高校総合体育大会には、サッカー・テニス・卓球・空手道・柔道・ソフトテニス・ウエイトリフティング・陸上・水泳など県内では群を抜いた最多59名が出場した。

また、文化系クラブの全国大会である全国高校総合文化祭は宮崎県で開催され、放送・棋道で5名が出場している。更にNHK全国高校放送コンテスト、全国高校ダンスドリル選手権、全国高校囲碁選手権、全日本高校女子ウエイトリフティング選手権にも53名が出場した。

その他に金原貴将君(1年)が、韓国永川市で開かれたテコンドーの世界大会への出場機会を得ている。



テニス部女子

県総体V21で全国表彰

男子 北信越総体 連覇

テニス部は、6月5日～7日の県高校総体において、男子が14連覇・女子が21連覇という快挙を成し遂げ、圧倒的な強さを示した。

6月19日からの北信越総体では、男子シングルスで羽倉克樹君(2年)が、またダブルスでも羽倉克樹君・諱五樹君(1年)の若いペアが優勝を果たしている。更に、男子団体は



2年連続15度目の優勝も実現することになった。

一方、女子団体の部においては、長野県代表として21年連続で出場していることが評価され、沖縄県で行われた高校総体テニス競技開会式の記念式典で、優秀校として全国の3校と共に表彰される栄誉も受けた。

テニス部は今年度も県の重点強化クラブに指定されている。

金原君 国際舞台へ



全日本テコンドー協会のジュニア強化指定選手に選ばれている金原貴将君(1年)が、7月9日から韓国永川市で開かれた、『第1回インターナショナルクラブオープンテコンドーチャンピオン2010』に出場

した。

金原君は小学校時代にテコンドーを始め、丸ノ内中学校在学中に全日本ジュニア選手権大会中学男子ライト級で優勝している。2年後のロンドン五輪、6年後のリオデジャネイロ五輪を目指し、現在活動が続いている。

放送部 全国で大活躍

24年連続出場を達成

放送部は、6月のNHK杯全国高校放送コンテスト長野大会において、番組4部門・1研究発表部門で優秀賞を受賞した(内2部門でNHK長野賞を受賞)。その結果、4番組・1研究発表部門・アナウンス3名・朗読2名が全国大会に出場した。引き続き、7月22日から東京NHKホールで行われた全国大会においては、テレビドラマ部門『空っぽのレンズ』5位、ラジオドキュメント部門『生命のメッセージ』6位(制作奨励賞)、アナウンス部門で酒井美香子さん(3年)が5位にそれぞれ入賞し、華々しい成果を上げた。

空手道部

内閣総理大臣杯 男子準優勝
全国高校選抜 女子5位入賞

空手道部は、3月25日～27日まで宮崎県で行われた第29回全国高校空手道選抜大会において、女子団体形で見事5位入賞を果たした。

その勢いで臨んだ高校総体県大会においても、女子団体組手・形で優勝を果たした。個人でも男子形で保科悠樹君（2年）が、女子組手で松尾若奈さん（3年）、女子形で久保田朋美さん（3年）がそれぞれ優勝した。

更に、北信越総体でも、女子団体では組手・形共に優勝し、又女子個人組手でも松尾若奈さんが優勝した。

その後、6月26日から東京体育館で行われた内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会において、今度は男子が躍進し、団体形で準優勝という大きな成果を上げた。



棋道部全国大会へ

棋道部は、6月5日、6日に開催された第34回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会長野大会において、女子団体で優勝、又『段級位認定会B2リーグ』では神尾直樹君（3年）が優勝している。女子団体は7月26日、27日に東京日本棋院で開催された全国大会に出場した。又個人では、太田亜里沙さん（3年）が、宮崎県で開催された全国総文祭みやざき2010囲碁部門に、長野県代表として出場している。

同部は、昨年3月に大阪市で開催された、第3回全国高校囲碁選抜大会の女子団体で、全国9位の成績を残している。



～国際交流の進展～

硬式野球部 親善交流試合

昨年度、本格交流の第一歩として、硬式野球部が韓国釜慶高校を訪問した。熱烈的歓迎の中、親善試合2試合を実施し意義ある交流を図ることができた。

今後、サッカー交流試合も含め、学芸関係クラブ、生徒会同士の交流会等、定期的により深い交流活動を展開していきたいと考えている。

【遠征期間】

平成21年11月27日（金）～30日（月）

【試合結果】

第1試合 松商6―10釜慶
第2試合 松商2―0釜慶
1勝1敗



(株)ヒラバヤシ

平 林 亮
(53回卒)

(有)メガネ専門店フキ

落 沢 正 紀
(59回卒)

(株)ホテル おもと

山 本 浩 司
(70回卒)

(株)ホテル モンターニュ

濱 野 秀 次
(64回卒)



校 友

清水が丘短信

松商第67回卒業

還暦記念同窓会を開催しました

平成22年、松商学園高校を卒業して42年あまりが過ぎた我々も還暦を迎える年になりました。

『この還暦を記念して同窓会を計画しよう』と、各クラスの代表を募り、5回くらい役員会を重ねて、第一回還暦記念同窓会を、6月5日に東急インにて開催いたしました。当時の担任でご健在の先生方と花村薫平校友会長を来賓としてご招待し、100余名の同窓生が参加し盛大な会にすることができました。

還暦を迎えそれぞれに生活も変化しているわけで、面影が残っている人、まったく誰だかわからない位の人：懐かしい面々との久しぶりの出会いに感動が湧き上がっていました。われわれ同期の仲間が中心に活動している【おじコン】の皆さんに出演していただき、数々の演奏と共に懐かしい松商の校歌を参加者全員で歌うことができました。この祝賀会の中では、現在も陸上で現役選手としてマスターズ大会にて、三段跳びで世界記録を持つ大日向暁子さんの紹介をし、その功績を讃える為の花束贈呈を行うこともできました。

還暦同窓会は初めての試みという

こともあり、先輩の田口敏子様より、『赤いちゃんちゃんこ』を贈呈され、その披露を行いました。そして、この【赤いちゃんちゃんこ】は『次の世代に受け継いで行けたら』そして、松商卒業生の思いを盛り上げていってほしい。』という願いの下に、来賓として招待していた、来年度の代表の方に引き継ぐこともできました。

この会を開催する為に、各クラスの代表30人近くの人が実行委員として集合し、何回もの話し合いを真剣に重ねてきました。それだけでもすごい盛り上がりを感じていました。これからも、松商卒業生の一人として、この還暦同窓会が続いていくのを願ってやみません。また、その思いが松商学園高等学校の繁栄していく糧となっていくてくれることを期待しています。

67回卒業生 百瀬敬子



第64回卒業生松本秀峰中等教育学校と松商学園高等学校を見学

64回卒業生13名が松本秀峰中等教育学校に集まりました。

校舎周辺は最後の整備にむけ、重機があわただしく動いていましたが、本校舎はほぼ完成、図書館では山と積まれた書籍の分類作業に追われていました。

当日は、初代学校長となられる小宮山淳氏の歓迎を受け、松商学園や松本秀峰中等教育学校に抱く、教育への思いをお聞きすることができました。

続いて、事務局の方に新校舎を案内いただきましたが、太陽光熱など自然エネルギーを取り込んだ吹き抜けるマルチホールや教室・廊下、また、木材がふんだんに活用された温もりのある教室、ユニバーサルデザインや防犯性にも配慮した設備等々、さらにそこには、生徒同士或いは生徒と教師のコミュニケーションを重視した教室の配置や仕組みがある近代建物でした。

こんな恵まれた環境の中で6年間勉学に励める生徒は幸せだなあと思いつつ、「既に我々の子供は無理だが、孫の入学チャンスはありだね」と、話が弾みました。

次に、我々の学び舎「松商学園高等学校」に足を運びました。こちらも、いたるところ改築改装の真っ只中でした。正午近くということもあり、真っ先に飛び込んだのが、学生食堂でした

が、学食でありながら、メニューの豊富さやボリューム感、そしてなんといつでもその美味しさに皆さん満足満足：

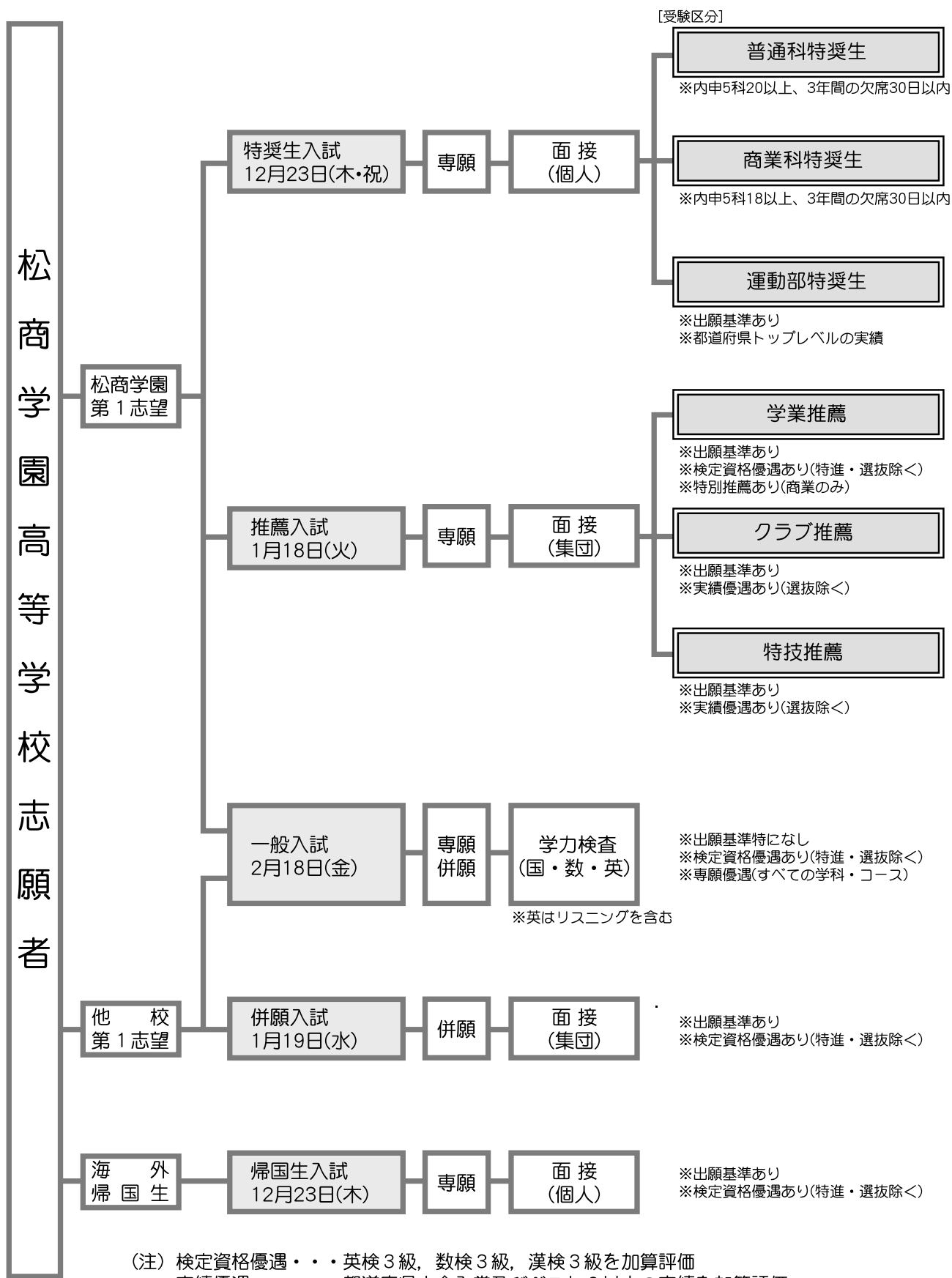
そして、高橋局長の案内で、まずは講堂へ、はつらつと練習する女子バレーボール部の元気の挨拶を受け、鎮座する今井五介翁の立像の下で昔を想い、6階建ての中校舎や北アルプスが望めるメディアホールへ。そして、歴史を感じさせる正面玄関の木造階段に足を運び、当時のままの手摺に手をあて昔の思い出に花を咲かせました。続いて、吉永小百合のロケのあった中庭へ：

最後は、校友会事務所でお茶をいただくなど、5時間ほどの時間ではありましたが、昭和37年、体育館屋上での応援練習から始まった3年間の学園生活にタイムスリップしたひと時でした。

六四回卒業生 会長 山田昇



□入試チャート





□入試情報

商業科(男女)80名

2年次より、ビジネス・簿記会計・経営情報の3コース制

普通科(男女)380名

- 特別進学コース……………60名
- 選抜進学コース……………70名
- 文理進学コース・総合進学コース……250名

2年次より文系・理系を選択
(総合進学コースは文系のみ)

◇詳細については生徒募集要項をご覧ください。 ※印については在籍する中学校の先生にご相談下さい。

特 奨 生 入 試	[試験] 12月23日(木)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	普通科特奨生	専願	特 選 文 総	20以上(5科)	個人	なし
	商業科特奨生	専願	商	18以上(5科)	個人	なし
	運動部特奨生	専願	商 選 文 総	※	個人	なし

推 薦 入 試	[試験] 1月18日(火)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	学 業 推 薦	専願	商 特 選 文 総	※	集団	なし
	ク ラ ブ 推 薦	専願	商 選 文 総	※	集団	なし
	特 技 推 薦	専願	商 選 文 総	※	集団	なし

併 願 入 試	[試験] 1月19日(水)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		併願	特 選 文 総	※	集団	なし

一 般 入 試	[試験] 2月18日(金)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願/併願	商 特 選 文 総	なし	なし	国・数・英 (記述)

帰 国 生 入 試	[試験] 12月23日(木)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願	商 特 選 文 総	※	個人	なし

堀地スチール工業(株)	(有) 丸 信 商 会	(株) 丸 谷 工 業	(有) マル直ムラマツ水産
堀 地 忠 明 (64回卒)	丸 山 栄 三 (53回卒)	丸 谷 義 一 (60回卒)	村 松 渡 (61回卒)



建学の精神に適う多彩な教育実践に取り組み 「秀峰アイデンティティ」を追求する「松本秀峰」



今年4月開校以来、新しい時代にふさわしい教育実践に次々と取り組む「松本秀峰」。長野県初の完全中高一貫校としてだけでなく、従来の中等教育にはなかった数々の先進的な取り組みが、地域・社会から注目され、評価をいただいております。

その原点は、「大きな夢と確かな知性・国際性を持ち、他の存在や異なる価値観を尊重する自由で強靱な精神によって、未来の日本や世界をリードす

る人材の育成」という“建学の精神”。常にその原点を顧みながら、“7つの教育目標”（①授業改革 ②特性・個性・才能の発見と育成 ③確かな学力と進路実現 ④チャレンジ精神と豊かな感受性 ⑤国際性の育成 ⑥創造と感動から生きる力を ⑦自由と規律のバランス）に適う教育実践に、様々なアイディアを出し合い取り組んでいます。

教育目標の中でも特に重視しているのが「授業改革」。保護者はもちろんのこと一般の方々にも授業を公開しながら教育のスキルアップを図り、知識欲を刺激する「わかる授業」を追求しています。

また、授業改革を目指す学校にふさわしい意欲と実力のある教師を公募により登用。全国から集った教師たちが、学ぶ喜び・知る喜び・解決する喜び・発見する喜びに満ちた教育を実践しています。全教室に電子黒板を導入するなどICT教育にも力を入れるとともに、理科教育では教材と実験室の充実を図り「理科好き」になる授業も展開しています。

さらに、週6日制により十分な授業時間を確保。到達度方式により、基礎

から標準の学力を確実に養成し、応用力・発展力を伸ばします。英語教育では、週5日ALTが日常的に生徒と会話しながら、コミュニケーションマインドの育成を図っています。

6年間のカリキュラムでは、基礎期の2年間で中学全課程を速習し、3年時からの3年間でじっくり高校課程を習得。全科目について標準レベル以上の学力を確実に身につけ、6年目は志望大学に対応した学力、実戦力を養成します。

今年、部活動は医学研究部、演劇部、オーケストラ部、外国語部の文化系4部、剣道部、硬式テニス部、サッカー部、卓球部、男子バスケットボール部の運動系5部の計9部が発足。6年間の継続した活動により他校にない大きな成果を出すことを目標に日々頑張っています。

【主な取り組み】

4月 中高一貫校対象全国学力調査
秀峰アドベンチャー

（斑尾高原…1泊2日）

5月 立候補者限定の生徒会長選挙

（立候補者5名）

6月 学校報告会（生徒出身小学校

対象 30校39名が参加）

7月 保護者・生徒・教職員による三者協議会「秀峰会PST」発足
夏期補習および夏期講習

8月 医学研究部の信州大学病院研修および森林セラピー調査
（赤沢美林）

9月 東京大学キャンパス訪問・主要大学説明会参加

チャレンジセミナー2010

「輝いて生きる」（生徒対象）

進路セミナー2010「中高一貫生の学校生活と大学受験準備について」（保護者対象）

イングリッシュウィーク

【生徒の活躍】

第9回市民タイムス杯中信地区将棋大会：初段免状獲得戦優勝／ジュニアエレクトーンフェスティバル：金賞受賞
／第41回長野県なぎなた大会：第2位
／県中体連中信大会（水泳）男子自由形50m：2位・男子自由形100m：3位入賞／平成10年度長野県少林寺拳法中学生単独演部の部 優秀賞／第12回長野県ジュニアゴルフ選手権大会：準優勝



松本大学より報告

松本大学 大学事務局長
小倉 宗彦

校友の皆様からの日頃のご支援に、誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。ここに、松本大学の現況を報告させていただきます。

◆一◆松本大学の第3者評価の受審

現在、大学及び短期大学は、7年に一度の頻度で文部科学省が指定した評価機関により第3者評価を受ける義務があります。これは教育内容、研究内容、学生指導の状況、教職員の資格や数、入学状況、卒業者の進路状況、各規程の整備、施設、設備、財務状況、学校法人の運営状況など細部に亘り評価を行います。短期大学部は平成20年

度、松本大学は平成21年度にこれらの評価を受審いたしました。

いずれも「適格」となり、総合評価でも高い評価を得ました。本学はこれらの評価活動の過程でクローズアップされた今後の課題に取り組み、更に充実した大学、短大を目指して参ります。

◆二◆例年になく厳しかった就職状況

昨今の経済不況により大学生の就職難が問題になっていますが、今年の春の卒業生で就職できなかった学生が全国で10万人、就職が難しいので留年した学生が更に10万人とわれています。このような状況の中で、本学の学生たちも苦戦を強いられました。よく頑張り大学の就職率は総合経営学部が89.3%、人間健康学部が91.3%、短期大学部が89.2%となりました。先頃発表された文部科学省の学校基本調査によると全国の平均就職率は大学は60.8%、短大は65.2%でした。しかし、本学においても従来に比べると内定率もダウンし、決定が年度末まで長引きました。今年度は更に就職指導を充実し、松本、塩尻、安曇野各市の商工会議所などの協力も得て、求人企業の開拓も行っています。

一方、総合経営学部1名、人間健康学部4名の学生が他大学の大学院へ進学し、年々大学院進学者が増えています。

◆三◆地域への貢献度の高い大学として全国の目が注目

本学は地域密着型大学として、短期大学だけの時代から教育の根幹に「地域」を据えて進めてきました。具体的には地域の教育力を取り込むために「アウトキャンパス・スタディ」や「教育サポーター」、「地域づくり考房『ゆめ』」などを駆使しての教育、様々な自治体、団体、企業との連携による社会活動を行ってきました。

これらの成果の1つとして日本経済新聞社の月刊誌「日経グローバル」が毎年全国の国公私立の大学を調査し11月に「全国大学の地域貢献度ランキング」を発表していますが、昨年度本学は全国第3位（私立大学第1位）の評価を受けました。

また、文部科学省が進めている競争的補助金によるすぐれた教育プログラム（GP）の公募選定にも地方の大学としては目立って採択されています。

このような状況から、大学運営について現在、全国の大学から本学の視察や講演依頼、原稿依頼が大変多くなっています。

本学は地方の私大の運営モデルを全国に発信しようと考え、現在努力を続けています。



教員と学生による地域住民の健康づくり指導

◆四◆7号館棟の完成

昨年の10月より建設を進めていました松本大学7号館が7月に完成し、8月4日竣工式が行われました。7号館はキャリアセンター、健康安全センター、基礎教育センター、地域づくり考房「ゆめ」、地域総合研究センター、教職センターなど学生支援の組織と現在申請中の大学院の研究室が入り、いよいよ学生支援の拠点としてスタートしました。

これにより学生の諸活動が一層充実し、成果が上がることを期待されます。



完成した7号館

◆五◆施設の充実

人間健康学部が設置されてから今年で4年目を迎え、来年3月には1期生が卒業します。

本学では、健康に関する社会的関心の高まりを背景に、より高度な専門能力をもった人材育成を目指して、今年6月大学院「健康科学研究科」の設置を文部科学省に申請いたしました。現在審査が進められ、順調にいくと10月末には認可となります。この大学院が認可されると全国的にも例が少ない「栄養」と「運動」の両面から健康の維持・増進に貢献する人材が輩出されます。

—「自主独立」をかかげて（一二年）—

歴史を物語る展示品二〇〇点余 いま光を浴びて歴史栄光室オープン

創立一〇周年記念事業の一環として行われた木造校舎の永久保存を目的とした改修工事も完成し、木造本館2階に学校法人松商学園歴史栄光室がオープンした。9月23日は11時45分から視聴覚教室で、来賓・寄贈者・建設関係者・法人・学校関係者が集まり開室記念式典が行われ、引き続いて1階ロビーコーナー前で来賓の坪田明男松本市副市長、藤原二理事長ら関係者によるテープカットが行われた。

◆歴史栄光室の目的と意義◆

松商学園は明治31年の木澤鶴人に始まり、米澤武平に引き継がれ、今井五介を始めとする片倉一族の財政的支援と、地域の人々の暖かい理解に支えられてきた。家塾風授業から商業教育・普通教育・高等教育と歩みを進め、時代の変化に応じて短期大学・大学・中等教育学校も加わり、明治・大正・昭和・平成と4つの時代一〇〇余年にわたり「自主独立」を掲げて発展してきた。

松商学園歴史栄光室は、学園に関わる歴史的な資料を一堂に集め、あらためてその歴史を振り返り、未来に向かっての一層の発展に役立つことを目的とする。卒業生には懐かしい思い出の場所に、また在校生には先人の活躍に励まされる場

所に、また地域の人々にはより理解を深めていただく場になれば幸いである。

◆1階ロビーコーナー◆

木造校舎正面玄関から入った1階ロビーには、歴代法人代表者・学園長・学長・校長の一覧と、昭和11年の木造校舎建設記録写真・校章の変遷・県町時代の松商学園短期大学の写真などが展示されている。階段を上ると正面上方にステンドグラスがあり、続く壁には学園ゆかりの画家の油絵がかかる。

◆2階歴史栄光室◆

2階に上ると、左側2教室分が歴史栄光室になっている。プロローグでは、校章と上條信山の「自主独立」の書、高野辰之の自筆校歌が出迎え、室内には壁面・展示台・ケースなどに二〇〇余点の資料を始め、学園や野球関係の書籍・雑誌・新聞が並んでいる。

◆展示形式◆

【常設展示】

学校の歴史・野球部の歴史・クラブ活動の歴史・歴代優勝旗・地歴部の土器と土偶コーナー・商業教育コーナー・松南高校コーナー・図書資料コーナー

【企画展示】

教育・クラブ・学生生活・人物等テーマごとに随時開催

◆見学について◆

入場料無料

見学希望の方は事前に電話予約が必要です（特に定めた日を除く）。

歴史栄光室の開室日についてはお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

松商学園高等学校

〇二六三ー三三ー二二一〇





見どころいっぱい各展示コーナー

歴史栄光室に展示されている貴重な品々を通して、明治・大正・昭和・平成と信州における私立学校の歴史や商業教育の歴史を、野球やスポーツの歴史を、さらに松本地方の社会・世相史の一端を知ることができる。

◆学校の歴史◆

【今井五介肖像画】

今井五介の孫の今井正人氏から寄贈を受けた肖像画には「今井五介翁寿像 中川紀元謹写」とある。中川紀元は長野県出身の画家で、出身地の辰野美術館には多くの作品が収蔵されている。この絵は五介の娘の熊谷たけさんが所有していたもので、たけさんが亡くなり、正人さんが預かっていたもの。ふさわしい場所にといいことで松商学園が思い浮かび寄贈の運びとなった。

【戊戌学会名簿 一二年前の資料】

明治31年8月16日と墨書された表紙をめくると、入塾生の氏名が並んでいる。金庫の中の学園の資料とともに収められていたもの。

【明治15年発行の英語の蔵書】

「稀覯本につき保管」との文字の記された封筒に入っており、校長室から出てきた。中には「日本学院校長木澤鶴人」の印。木澤が戊戌学会を開く前に東京で立ち上げた学校である。木澤鶴人の東京での様子を知る貴重な資料である。

【誕生期の松本戊戌学会学則】

平成21年4月、松本市内古書店から「明治時代の松本戊戌学会の学則が出てきた」との連絡があり、寄贈を受けたもの。初期の松本戊戌学会の様子がわかる。

◆野球部の歴史◆

【80年以上前のバット2本】

1本は大正13年のバットで、伊藤元基投手が全国大会で決勝まで進み、準優勝したときのもの。伊藤孝孝氏から寄贈をうけた。もう1本は昭和4年、元早稲田大学野球部監督で学生野球の父とも呼ばれた飛田穂洲から寄贈され、グリップには「雪辱」の文字が刻まれ、野球関係者の座談会の話の中に出てきたバット。今回校用技師室の地下倉庫からケースに入ったままで出てきた。

【バットの折れた記念の打者像復活】

打者像は昭和9年にもあったブロンズ製で、折れたまま展示するわけにもいかず、家具工房を営む須藤さんに修復を依頼。古い写真の中からバットの写っているものを見つけ、長さや太さと角度を割り出し、硬式野球部の高山先生から生徒の使っていたバットを譲り受け、そこからアオダモの部材を削り出し、形を整えて何度も色を塗り重ね、質感も本体と見分けがつかないほどになった。記念の打者像が現在の野球部員のバットでよみがえった。

【昭和17年幻の甲子園出場】

野球部は大正2年発足し、今年で創部97年になる。本校で最も古いクラブである。全国大会出場は全国最多の35回を数えるが、出場回数に入っていない大会が1回ある。昭和16年は戦時下であることを理由に中止になったが、翌年は戦意高揚のため大日本体育振興会の主催で復活した。しかし主催者が異なるため、現在の夏の甲子園大会の回数には数えられていない。当時のマネージャーだった宮坂真一氏（長野県高等学校野球連盟参与）から戦士章・プログラムの寄贈を受けた。

◆中島治康コーナー◆

【野球の殿堂と同じ中島治康レリーフ】

日本のプロ野球史上初の三冠王で巨人軍の監督も務めた中島治康について、学校内には関係資料は少なかつたが、藤原理事長が上京した際、東京ドームの中にある野球体育博物館を訪れて、野球界の功労者を讃える野球の殿堂に飾られているレリーフのレプリカの作製の許諾を受け、完成したものは松商学園京浜校友会が寄贈することになった。中島治康については今年3月長野県立歴史館が刊行した『信濃人物伝』にも取り上げられている。

◆展示台および優勝旗展示コーナー◆

【劣化を防ぐアクリルのケースに入れて】

野球部を始めとする各クラブの優勝旗は以前は法人役員室のガラスケースに収められていたが、今回すべて整理をした。ものによっては甚だしく劣化が進み、触るそばから破れていくものもあったが、甲信大会優勝旗と全国中学校優勝旗大会優勝旗はアクリル板で抑えてさらにケースに収め、平成3年の準優勝旗はアクリルケースに収める方法で展示。他は強化ガラスケースに収めた。



◆土器・土偶コーナー◆

【画家岡本太郎も感心した立体土偶】

今まで図書館の奥のガラスケースの中にあつたもの。昭和30年代の後半、本校地歴部が専門家の指導を受けながら波田の葦原遺跡から発掘

元 禄 吉 田 屋 内山 隆之・美奈子 (88回卒)	福寿草公園前 三 平 堂 商 店 坪 田 洋 治 (61回卒)	(有)サンユー製作所 百 瀬 俊 雄 (54回卒)	大沢会計事務所 大 沢 利 充 (67回卒)
---	--	---	---

したもので、とくに土偶については高い評価を受けて各種図鑑・美術書等に掲載され、博物館にも貸し出されてきた。また、当時の発掘の様子を撮影した8ミリフィルムも6本出てきたため、今後DVD化して公開することも検討中。



◆松本松南高等学校コーナー◆

【埋橋の地の歴史をしのぶ】

学校法人松本松南高等学校は、平成20年に学校法人松商学園と合併し、平成22年に学校は開校したが、玄関横にあった初代理事長である三代片倉兼太郎と初代校長小口幸一のレリーフを校歌、校旗とともに歴史栄光室に収めた。埋橋の地は、元松本商業学校のあったところ。三代片倉兼太郎は財団法人松本商業学校総務理事（現在の理事長）を務めた。そしてその地に新たに松本秀峰中等教育学校が誕生した。

◆図書・資料コーナー◆

【三代澤本寿 型絵染四曲屏風】

三代澤本寿（みよさわ もとじゅ） 一九〇九―二〇〇二 型絵染作家。松本市生まれ。松本商業学校入学。芹沢銈介に出会い民芸に強くひかれ、その後柳宗悦らとの交流を深め、草木の染料で和紙に染色する技法を開発して屏風やパネルなどを制作、地方での民芸思想の普及につとめた。平成22年、松本市美術館で「三代澤本寿展」が開かれた。

◆視聴覚コーナー◆

ここは木造校舎一部解体に伴って取り外され

た階段部分の部材を復活させて作られた。学園の周年記念で製作されたビデオや甲子園大会の様子を見られるように順次整備していく予定。

◆第1回企画展 木澤鶴人と今井五介

9月23日～26日◆

木澤・今井・米澤ありて松商の八十年を迎うかりそめならず
在学中から松商短歌会で活躍し、歌人窪田空穂の流れをくむ歌誌「槇の木」を主宰、長く母校の国語教師を務めた岩崎睦夫の歌である。
創立者木澤鶴人と経営の恩人今井五介の生涯を略年譜でたどり、木澤家・今井家伝来の品を展示して、松商をつくった人々を偲ぶ。

【主な展示品】

・木澤家伝来の置き時計・開智学校卒業証書・明治時代の生徒たちとの記念写真
・今井家伝来の火縄銃二挺・ゴルフバック・ステッキ・額装

歴史栄光室のできるまで

創立一〇周年記念事業の一環の木造校舎の修復保存工事にともない、歴史栄光室が2階2教室分を使って開設された。

平成21年10月30日、田口敏子委員長（常務理事・高校委員長）のもと、第1回の松商学園歴史栄光室検討委員会が開かれ、以降月1回のペースで、基本方針の確認、展示物の候補と配置の検討、見学方法の検討等が行われた。4月、高校に歴史栄光室運営委員会がもうけられ、検討委員会と平行して準備作業が進められた。7月下旬、内装工事が開始されると、進行状況や詳細部分の連絡確認等のための定例会議が開かれ、平成22年8月27日の検査引き渡し、9月23日のオープンのはこびとなった。

木造校舎の解体修復工事が進むにつれて、校長

室・会議室・事務室・応接室・職員室・法人役員室など、普段簡単には見ることができない場所や、忘れられていた場所、果ては解体した壁や床下から当時の生徒たちのノートや教科書まででてきた。図書館の書庫からは明治時代の教科書が出てきた。考古学資料室には『松商学園九十年史』編纂の際に収集・整理された膨大な資料があった。

清水ヶ丘会館1階会議室を物品の集積場所とし、歴史栄光室検討委員会もその場所で行われていたが、集められた展示品候補と寄贈された品々でいつしか会議を開くのも窮屈な感じを受けるほどになった。夏休みに入るとともに内装工事・展示台の搬入取り付け工事・グラフィックパネルの取り付け工事が一気に進み、夏休みあけから展示品の搬入とキャプションの取り付けが行われた。その後追加工事や手直し、広報・資料関係の準備とともに開室直前まで続けられた。

設計と監理を担当したアーキテック、施工のハシバテクノス、展示台や展示パネルの製作やデザインを担当した電弘、また額縁修復等の青木ガラス店、廊下ウインドのパネル製作には情報科の上杉教諭の協力を得、歴史栄光室運営委員があった。また、図書・雑誌・ビデオ・DVDの所蔵台帳作成のための整理と入力、「松商学園歴史栄光室展示品解説」の印刷・製本も委員が分担して行った。事務局や校用技師さんには校内各所の倉庫、物置の点検や物品の発見・移動等に協力を頂いた。

資料を寄贈したり、使用を快諾下さったりした方々、『松商学園九十年史』を始めとする周年記念誌史の編纂にかかわった諸氏、『松商野球戦歴史 留魂』の著者高野朝彦先生ら、多くの人の労苦と協力の上になったものであることを記し心より感謝します。

9月20日 窪田文明

履物問屋 清井商店 清井宗之助 (53回卒)	久保田容器工業(株) 久保田孝次郎 (53回卒)	田中スチール工業(株) 田中嘉隆 (58回卒)	千代田土地住宅(株) 土橋伊久雄 (53回卒)
-------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------



平成21年度終身会費納入者名簿

(有)エス・エヌ 服部公威 (70回卒)	(株)エイコー 田中義方 (53回卒)	(株)大月酒店 大月吉史 (57回卒)	(株)ギガ・ジャパン 益山定雄 (53回卒)
-----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------

終身会費納入状況

本年度の終身会費の納入状況は下記の通りです。各号に納入者のお名前を掲載しております。
 本号には、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの納入者名を掲載しました。
 ご協力に感謝しますと共に、厚くお礼申し上げます。
 尚、終身会費未納の方には、納入のご協力を頂きます様、お勧めをお願い致します。

終身会費納入状況

(平成22年3月31日現在までの累計)

卒業生納入者数	8,312 名
納入口数	8,620 口
金額	172,400,000 円
在校生納入者数	885 名
納入口数	888 口
金額	17,770,000 円
総合計	190,170,000 円

平成21年度卒業生

109 回卒
298 名
324 口
金額 6,480,000 円

※ゆうちょ銀行での振込みの場合

口座番号 00590-4-12388
 松商学園高等学校校友会
 終身会費1口2万円以上

※お問い合わせは

松商学園高等学校校友会事務局
 TEL 0263-34-2724
 FAX 0263-34-0107

■平成6年10月15日までの納入者は19号に
 ■平成7年10月31日までの納入者は20号に
 ■平成8年11月20日までの納入者は21号に
 ■平成9年10月20日までの納入者は22号に
 ■平成10年12月10日までの納入者は23号に
 ■平成11年10月31日までの納入者は24号に
 ■平成12年11月30日までの納入者は25号に
 ■平成13年11月30日までの納入者は26号に

■平成14年10月31日までの納入者は27号に
 ■平成15年10月31日までの納入者は28号に
 ■平成16年10月31日までの納入者は29号に
 ■平成17年10月31日までの納入者は30号に
 ■平成19年9月30日までの納入者は32号に
 ■平成20年3月31日までの納入者は33号に
 ■平成21年3月31日までの納入者は34号に
 それぞれ掲載されております。

維持年会費の納入にご協力をお願いします

校友のみなさま、日頃『維持年会費』につきましては、深いご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、学校法人松商学園は本年で創立112年となり、松商学園高等学校校友会も大正10年に発足し、爾来、会則第1条にある様に会員相互の親睦と団結を図るとともに、母校経営の母体としての使命を念頭に学園の発展に寄与の理念の基、校友会の各々の立場の中で活動が引き継がれてまいりました。その経過の中でも、昨今ではあらゆる世界の様々な分野においても全く想像できない程に全てが、激動・激変の状況下であります。

校友会も母校経営の母体としての使命の部分において年毎に使命感の温度差が顕著になってまいりました。ここで、校友会会員一同の結束をより強固に再生するには、皆様方から、校友会仲間のみなさんへお声掛け等のさらなる御支援が重要となり、ご協力とご指導をお願いする次第でございます。



平成21年度維持年会費納入者名簿

(学籍番号は封筒の宛名欄の下にある数字です)

***納入は平成23年3月末日までをお願い致します。**

(株) 草 田 組 草 田 耕 一 郎 (6 5 回卒)	浅 輪 食 糧 店 浅 輪 周 平 (5 4 回卒)	アルプス造園 宮 瀬 寛 (5 3 回卒)	(株)佐藤ボデー製作所 佐 藤 古 寿 (6 5 回卒)
---	---	--------------------------------------	---

平成22年 総会

平成22年5月15日（土）午後5時より、長野県勤労者福祉センターに於いて平成22年松商学園高等学校校友会総会及び懇親会が多数のご来賓と大勢の校友のご出席を頂き、盛大に開催されました。
今回の総会において、平成21年度決算・平成22年度予算・平成22年度事業計画につき承認頂きました。次のとおりご報告致します。

平成21年度決算報告書・平成22年度予算書

決算：自 平成21年4月1日・至 平成22年3月31日
予算：自 平成22年4月1日・至 平成23年3月31日

【一般会計】

収入 (単位：円)		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
維持年会費	1,110,000	1,100,000
総会会費	400,000	240,000
学年会費	60,000	210,000
預金利息	84,050	80,000
雑収入	249,000	200,000
終身会計より繰入	9,000,000	8,125,000
前年度繰越金	218,498	552,241
合 計	11,121,548	10,507,241

支出 (単位：円)		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
記念品費	130,377	140,000
総会費	813,050	500,000
会議費	217,130	200,000
委員会活動費	14,610	30,000
特活奨励費	941,000	900,000
事務局費	136,497	100,000
事務委託費	960,000	960,000
振込手数料	29,350	30,000
会報発行費	970,646	1,000,000
印刷費	27,300	30,000
通信費	148,512	150,000
慶弔費	200,750	200,000
組織活動拡充費	722,000	400,000
リース料	206,325	200,000
旅費	0	50,000
連合会負担金	50,000	50,000
特別寄付金	5,000,000	5,000,000
支払手数料	1,760	5,000
次年度繰越金	552,241	562,241
合 計	11,121,548	10,507,241

【終身会計】

収入 (単位：円)		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
終身会費(預り金より)	6,480,000	6,500,000
預金利息	9,809	10,000
終身会費(卒業生より)	535,000	535,000
前年度繰越金	19,780,241	17,792,300
合 計	26,805,050	24,837,300

支出		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
一般会計へ	9,000,000	8,125,000
支払手数料	10,130	10,000
振込手数料	2,620	3,000
次年度繰越金	17,792,300	16,699,300
合 計	26,805,050	24,837,300

【預り金】

収入 (単位：円)		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
預り金収入	5,880,000	5,600,000
前年度繰越金	16,407,320	15,774,510
合 計	22,287,320	21,374,510

支出		
科 目	H21年度決算額	H22年度予算額
終身会計へ	6,480,000	6,500,000
振込手数料	32,810	40,000
次年度繰越金	15,774,510	14,834,510
合 計	22,287,320	21,374,510

大和産業(株)

青柳 保
(53回卒)

(有)会田醤油醸造店

滝沢 善長
(65回卒)

(株)青木工務所

鳥羽 弘光
(短大8期卒)

お お つ き

大月 晃雄
(64回卒)



平成 22 年度 事業計画

◆創立 110 周年記念事業への協力

1. 総務企画委員会

- (1) 本会の経理及び財務に関すること。
- (2) 学年会費、終身会費、維持会費に関すること。
- (3) 松商学園高等学校との密接な連携に関すること。
- (4) ホームページの管理。

2. 組織活動委員会

- (1) 学年代表幹事、支部組織に関すること。
- (2) 校友会のあり方懇談会の開催。(直近の卒業生)
- (3) スポーツ系 OB 会・文化系 OB 会、同好会 OB 会との連携。
- (4) 学年代表幹事は、各委員会に所属する。

3. 事業活動委員会

- (1) 定期総会の開催。〈平成 23 年 5 月 14 日 (土) 予定〉
- (2) 会報の発行。〈10 月下旬〉
- (3) ゴルフ大会。〈9 月 4 日 (土)〉
- (4) 松商祭への協力。

平成 23 年 松商学園高等学校校友会総会のご案内

期 日：平成 23 年 5 月 14 日 (土)

総 会：午後 5 時

会 場：松本東急イン

懇親会：午後 6 時 30 分

(松本市深志 1 - 3 - 21 電話 0263-35-3333)



平成 22 年 総会



平成 22 年度 入学式



第 63 回 松商祭



平成 22 年 懇親会



平成 22 年度 入学式



第 63 回 松商祭

(株)成進社印刷

腰 原 春 郎
(5 4 回卒)

(有)金森写真館

金 森 達 夫
(6 8 回卒)

中国料理 百老亭

出 井 健二、出井健太郎
(6 6 回卒) (9 5 回卒)

(有)本 郷 商 店

本 郷 剛 史
(8 0 回卒)

松商学園創立 110 周年記念 学校教育施設拡充募金のお願い

松商学園創立 110 周年記念実行委員会



松商学園は、本年創立 112 周年となり、記念事業として種々の行事を挙行政致しました。

残る事業として、「松商学園の校舎の永久保存」と「中等教育学校設立」に関する募金事業があります。

「松商学園の校舎の永久保存」事業については、松商学園の象徴であり、歴史的価値が高く、卒業生の心の拠り所でもある鳳凰型の木造校舎を後世に残せるよう耐震補強・改修工事を実施し、永久保存を可能にして、国の登録有形文化財として申請することが理事会にて決定しています。

「中等教育学校設立」事業については、日本や世界を先導する人材を育て、輩出するという社会貢献の意志に根ざし長野県初の 13 歳から 18 歳までの 6 年間完全一貫教育の「松本秀峰中等教育学校」を平成 22 年 4 月に開校しました。これらの事業を確実に遂行すべく、学校法人松商学園は、理事会の決議に基づき、110 歳の節目の年に資金を募らせて頂くこととなり、現在多くの賛同者より募金を頂いております。

然しながら、世界金融不況の影響もあり、現在の募金状況は、大変厳しい状況にあります。この記念事業を完遂するために、学年代表幹事を中心とした募金活動の啓蒙を頂くと共に、校友諸賢の温かいご理解を頂き、母校 110 年に思いを馳せて、何卒趣旨をご理解の上お願い申し上げます。

改めて振込用紙を同封させていただきます。



松商学園学校教育施設拡充募金概要

募金の目標額 2 億円

■募金の金額■ 個人寄付 1 口 5 千円 なるべく 2 口以上をお願いいたします

■募金の期間■ 平成 20 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

■払込方法■ 同封の払込取扱票をお使いのうえ、ゆうちょ銀行（旧郵便局）よりお振り込みください

■寄付者の顕彰■ お名前を寄付者芳名録に掲載し、配布する予定です。また、2 万円以上のご寄付を賜りました方は、永久保存する木造校舎内、並びに新設の中等教育学校内の寄付者銘板にご芳名を刻み、永く顕彰させていただきます。

寄付金に対する免税措置について：寄付金につきましては、所得税の控除を受けることができます。詳細は下記に問い合わせ下さい。

松商学園創立 110 周年記念実行委員会事務局（清水が丘会館）

電話(0263)34-2724 FAX(0263)34-0107



第78 回生

卒業30周年記念式典を終えて

私たち第78回生（昭和54年3月卒業）は卒業30周年を迎え、平成22年1月30日（土）に毎年先輩方より引き継がれてきた伝統行事である記念式典を、松本東急インで開催いたしました。

ご来賓に、花村薫平校友会長、小宮山淳学園長、平林尚武前学校長、市川勝正京浜校友会副会長、当時各クラス担任の恩師である先生、伊藤洋子先生、瀬川皓資先生、丸山紀明先生、北沢洋一先生、田中章司先生、片山元信先生、斎藤治先生、また、第77回生を代表して丸山昌利様、丸山新吉様、第79回生を代表して奥原美樹様、宮下秀保様にご出席をいただき、私たち第78回生106名と合わせ総勢121名の皆様に出席をいただきました。

式典では、校旗入場、校歌斉唱、物故者黙祷を行った後、後輩に役立ててもらおうと私たち第78回生より募った奨学基金1,352,000円を内村浩明実行委員長より、平林尚武前学校長へ贈呈いたしました。その後、昨年第77回生より引継ぎをうけた「伝統の鍵」を第79回生代表に託し、無事式典を終了することができました。

懇親会では各クラス担任の先生方より当時の私たちの事、現在の松商学園

の様子など貴重なお話を頂戴いたしました。また、松商学園放送部で活躍されている方々による学校紹介ビデオの映像が流れる中、昔の話に盛り上がり、終始穏やかな雰囲気で一時を過ごすことができました。

最後に、奨学基金にご協力いただきました皆様、記念式典を開催するにあたり大変ご苦勞をおかけした実行委員の皆様、心より御礼申し上げますとともに、御健勝でのご活躍をお祈り申し上げます。



79回卒業生 全員集合!

私達も今年（平成22年）で卒業して以来30年を迎えました。皆様、それぞれの分野で活躍されていると思います。そこで先輩方から代々受け継いでいる伝統行事の「30周年の記念式典」を下記の通り行いますので79回卒業生の皆様の参加を是非お願いします。

①記念式典

期日：平成23年1月29日（土）

受付：午後5時00分

開始：午後5時30分

会場：ブライトガーデン

松本市高宮東1-28（tel0263-29-1122）

備考：旧担任の先生をご招待致します。

②事業（後輩への奨学基金贈呈）

目標：1,000,000円

※詳細については、各クラス幹事、又は下記迄お問い合わせください。

【お問い合わせ】79回学年代表幹事 奥原美樹

携帯電話 090-3148-1878 TEL：0263-93-2101 FAX：0263-93-2339

平成21年度校友会支部・学年会活動報告

◆支部会◆

- ・平成21年 6月20日 京浜校友会総会
- ・平成21年 6月27日 松商南信会総会
- ・平成21年 7月11日 島立支部総会
- ・平成21年11月15日 穂高支部総会

- 於 アルカディア市ヶ谷
- 於 仙岳
- 於 三の宮公民館
- 於 穂高神社参集殿

◆学年会◆

- ・平成21年10月24日 43回 A 同窓会 於 みやま荘
- ・平成22年 1月30日 78回 卒業30周年記念同窓会 於 松本東急イン

第16回

校友会ゴルフ大会

第16回校友会ゴルフ大会が平成22年9月4日(土)松本浅間カントリークラブに於いて開催されました。

晴天の下、90名の皆様の参加をいただき、盛大に実施できました。

今回は、例年よりスタート時間を遅くして、パーティーを取りやめて表彰式も平成23年校友会総会の席で行うという初めての試みでコンペを開催させていただきました。当日の全てを行うのか後日に行うのかは皆様方のいろいろなご意見をふまえて今後の運営に反映させていきたいと考えておりますので率直なご意見を校友会にお寄せいただきたいと思います。

今回は女性が3名参加いただきましたが、より多くの女性のみなさんの参加をお願いしたいのと、若い学年のみなさんの参加をお願いしたいと思います。

総会の席での、ご意見ご要望をよろしく願いたします。



成績は左記の通り



団体戦(学年対抗)					個人戦									
優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
67回生	63回生	59回生	64回生	56回生	永原力	山口敬雄	新田協秀(穂)	増沢清	牛山定	青木繁之	田中進	塩原明	青木寿一	上條博伸
67回	63回	61回	63回	67回	67回	63回	68回	54回	67回	59回	64回	58回	63回	61回
宇留賀弘	牛山定	B・G賞	B・B賞	B賞										

—— あとがき ——

母校112年の歴史。皆様方には何かとご協力を頂き会報の発行に役員一同取組み、会員への発送に至りました。今回は、終身会費又は、平成21年度に維持年会費を納入頂いた校友の皆様にお届けさせて頂きました。松商学園高等学校校友会のホームページにも掲載いたします。そちらもご覧下さい。

少子化の流れの中、私学の厳しさを痛感せずにはいられない今日ではありますが、母校松商学園の永久なる発展の為に尽力頂き、末永いご指導をお願いするものです。

夕闇が、一日一日長くなり、西の山々も薄っすらと雪化粧しております。

皆様方が、ご健勝でありますようご祈念申し上げます。

編集等に、お気づきの際はご一報お寄せください。

おくやみ

木澤政源氏(六十八歳)理事
赤羽武臣氏(九十一歳)元施設管理員
謹んでお悔やみ申し上げます。
平成二十二年三月二十二日(逝去されました)
平成二十二年四月二十五日(逝去されました)

松商学園関係
ホームページアドレス一覧

- 学校法人松商学園
<http://www.matsumoto-u.ac.jp/>
- 松商学園高等学校
<http://www.matsusho-h.ed.jp/>
- 松本大学
http://www.matsu.ac.jp/matsumo_u
- 松本秀峰中等教育学校
<http://www.matsu.ac.jp/syuuhou>
- 松商学園創立110周年記念実行委員会
<http://www.matsu.ac.jp/110th>
- 松商学園高等学校校友会
http://www.matsu.ac.jp/matsusho_k/
- 松本大学同窓会
<http://www.matsu.ac.jp/dousoukai/index.html>

インターネットで
松商学園高等学校校友会にアクセスできます！

- ホームページ http://www.matsu.ac.jp/matsusho_k
- メールアドレス kouyukai@matsusho-h.ed.jp